

# 消 防 年 報

平成29年版



旭市消防本部

## は し が き

本書は、平成30年4月1日現在の当消防本部及び消防団の現勢ならびに平成29年中の消防業務に関する諸統計と一部過去における諸統計を比較収録し、今後の消防行政の合理的運用をはかるとともに活動状況を紹介することを目的として作成したものであります。

平成30年7月

旭市消防本部



消 防 本 部

消 防 署





# 目 次

## 【消防本部】

1. 消防本部の沿革	1
2. 消防機構（組織）	5
3. 消防施設	6
4. 面積・人口・世帯数	7
5. 基準消防力と現有消防力との比較	7
6. 現有消防力に対する面積・人口・世帯数	7
7. 予算（当初）決算の推移	7
8. 消防本部車両配置状況	8
9. 歴代消防長	9
10. 消防職員配置状況	10
11. 消防職員階級別年齢表	10
12. 消防職員勤続年数	10
13. 消防研修機関派遣状況	11
14. 資格取得状況	12
15. 通信指令業務の概要	13
(1) システム系統図	14
(2) 消防救急無線装置の概要	15
16. 119番受理回数（4年間）	16
17. 平成29年気象観測状況	17
18. 消防法に定める防火対象物数（地域別）	19
19. 地域別中高層建築物数	20
20. 地域別危険物施設数	20

21. 地域別消防水利状況	21
22. 年別火災発生状況	22
23. 平成29年地域別火災発生状況	23
24. 年別・原因別火災発生件数	24
25. 年別救急出動件数	25
26. 年別・地区別・救急発生件数	26
27. 平成29年地区別救急発生件数・搬送人員数	27
28. 特別救助隊のあゆみ	28
29. 特別救助隊編成表	30
30. 年別救助出動状況	30
31. 平成29年救助活動状況	31
32. 平成29年地域別救助出動件数	31
33. 平成29年消防隊出動状況	32

# 1. 消防本部の沿革

昭42 . 10 . 1	旭市では政令指定に基づき、消防本部、消防署を設立し、消防業務を開始する。
昭43 . 12 . 29	政令指定に基づき、救急業務を開始する。
昭45 . 4 . 1	一市三町で知事宛消防組合設立許可の申請を行った。
昭45 . 4 . 17	旭市、飯岡町、海上町、干潟町に対し、旭市外三町消防組合設立許可され設立する。 消防職員33名、水槽付消防ポンプ自動車1台、消防ポンプ自動車1台、化学車1台、救急車1台、広報車1台。
昭45 . 10 . 3	旭市外三町消防組合消防本部、消防署を設立し、消防業務を開始する。
昭46 . 1 . 5	消防職員 40名
昭46 . 4 . 1	消防職員 67名
昭46 . 6 . 1	政令に基づき、自治大臣から、飯岡町、海上町、干潟町が消防本部、消防署を置かなければならないと指定された。
昭46 . 6 . 3	海上分遣所を開設し、消防職員10名、消防ポンプ自動車1台を配置する。
昭46 . 7 . 4	飯岡分遣所を開設し、消防職員13名、消防ポンプ自動車1台、救急車1台を配置し、救急業務を開始する。
昭46 . 8 . 1	消防職員 70名
昭46 . 8 . 10	干潟分遣所を開設し、消防職員10名、水槽付消防ポンプ自動車1台を配置する。
昭47 . 4 . 1	消防職員 76名
昭48 . 4 . 1	消防職員 80名
昭48 . 6 . 30	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車の寄贈を受け消防署へ配置する。
昭49 . 11 . 1	海上分遣所へ救急車を購入し、救急業務を開始する。
昭50 . 4 . 1	消防職員の定数条例を改正する。定員を82名とする。
昭51 . 4 . 1	消防本部の機構を改め、総務課、予防課、警防課の三課とする。 消防職員 81名
昭51 . 4 . 8	干潟分遣所へ救急車を配置、救急業務を開始する。
昭52 . 11 . 17	水槽付消防ポンプ自動車を購入し、海上分遣所へ配置する。
昭53 . 9 . 1	消防職員 82名
昭54 . 11 . 20	水槽付消防ポンプ自動車を購入し、飯岡分遣所へ配置する。
昭55 . 4 . 1	消防職員の定数条例を改正する。定員92名とする。
昭55 . 10 . 17	水槽付消防ポンプ自動車を購入し干潟分遣所署へ配置する。
昭55 . 10 . 25	救助工作車を購入し、消防署へ配置する。
昭56 . 4 . 1	消防職員87名
昭57 . 3 . 3	消防庁長官表彰旗受章する。
昭57 . 4 . 1	消防署に通信指令室を設置し、室員を配置する。 消防職員92名
昭58 . 2 . 1	消防署に救急指令装置(B型)を配置すると同時に、飯岡町、海上町、干潟町からの119番受信を開始する。
昭58 . 4 . 1	消防本部の機構を総務課、予防課、警防課、通信指令室の三課一室とする。 消防職員92名
昭58 . 11 . 17	消防庁舎建設用地を取得する。(民有地 1, 037㎡)

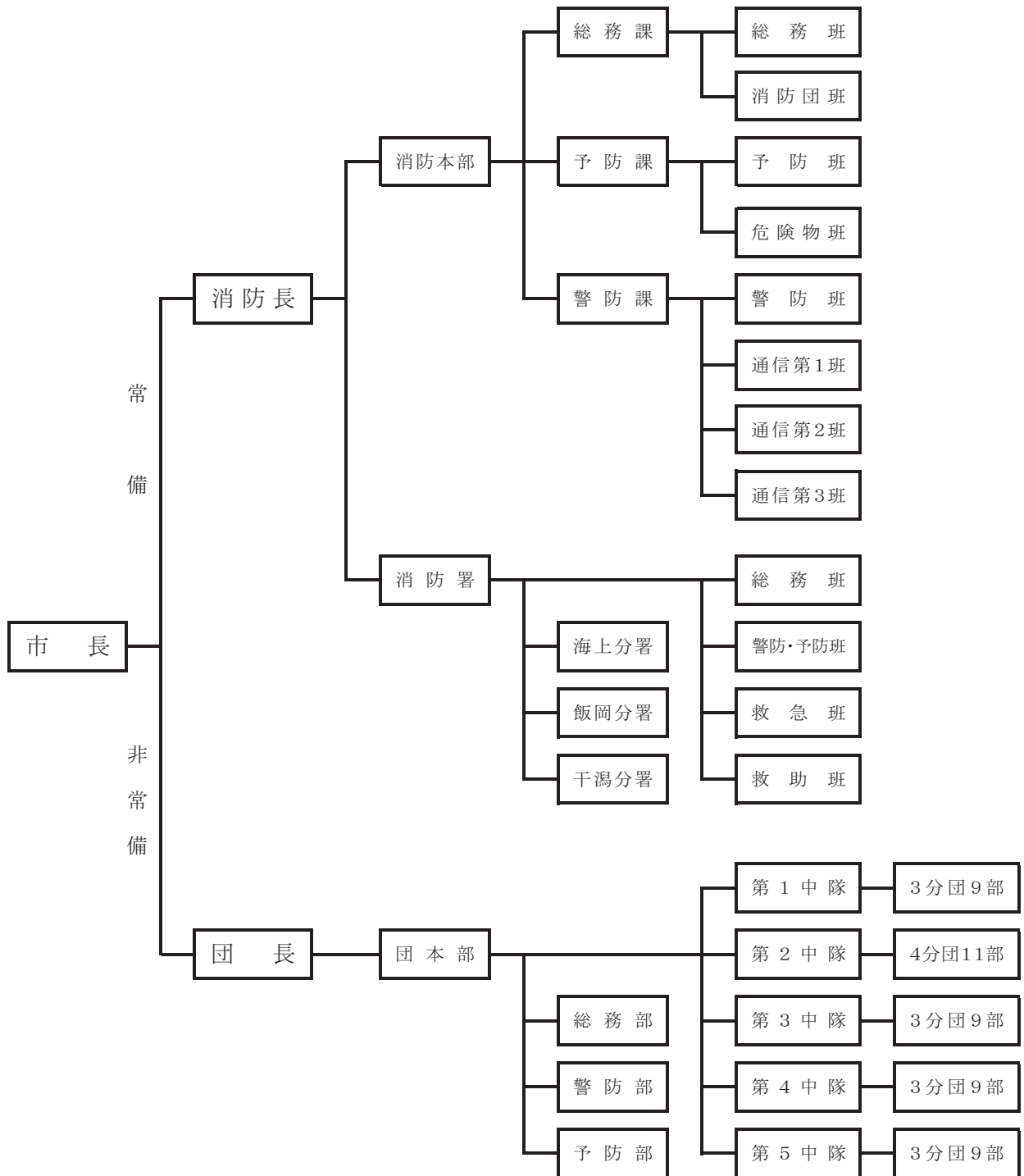


昭59 . 2 . 22	消防本部、消防署に千葉県防災行政無線を設置する。
昭59 . 4 . 3	消防庁舎建設用地を取得する。(旭市土地開発公社所有地 3, 527.2㎡)
昭60 . 2 . 27	消防庁舎新築工事起工式を挙げる。
昭60 . 12 . 23	消防庁舎新築工事完了する。
昭61 . 4 . 1	消防職員92名
昭62 . 5 . 1	消防職員91名
昭63 . 4 . 1	消防職員の定数条例を改正する。定員を95名とする。 消防職員92名
平元 . 4 . 1	消防職員94名
平3 . 1 . 29	海上分遣所仮眠室を増築する。(22.568㎡)
平3 . 3 . 1	消防職員の定数条例を改正する。定員を102名とする。
平3 . 3 . 25	はしご付消防自動車(30m級)を購入し、消防署へ配置する。
平3 . 4 . 1	消防本部事務部門につき、第2・第4土曜日閉庁を実施する。 消防職員95名
平4 . 3 . 30	救急用無線(救急波)施設を整備する。
平4 . 4 . 1	消防職員の定数条例を改正する。定員を125名とする。 消防職員98名
平4 . 9 . 1	消防職員99名
平4 . 9 . 3	衛星通信回線(ふるさと千葉情報ネットワーク整備)運用を開始する。
平5 . 4 . 1	完全週休2日制を実施する。 消防職員106名
平6 . 4 . 1	消防本部の機構を総務課・予防課・警防課・指令課の4課とする。 消防職員116名
平7 . 3 . 16	高規格救急車及び高度救命処置用資器材を購入し、消防署へ配置する。
平7 . 4 . 1	救急救命士業務を開始する。 消防職員122名(女性3名採用)
平7 . 10 . 1	消防本部、消防署設置条例を改正し、分遣所の名称を分署とする。
平8 . 2 . 28	消防署救急消毒作業室(木造、平屋、39㎡)を新築する。
平8 . 10 . 1	消防組織法の規定に基づき消防本部に消防職員委員会を置く。
平9 . 2 . 20	消防署に、消防訓練塔(高さ21m、一部倉庫)を新築する。
平9 . 3 . 4	消防本部指令課へ、消防無線全国共通波(1波、5W、150.73MHz)を新規整備する。
平10 . 4 . 1	消防職員119名
平11 . 4 . 1	消防職員118名
平12 . 4 . 1	消防署、3分署、指令課の勤務を3部交代制勤務とする。 消防職員121名
平12 . 8 . 28	はしご付消防自動車のオーバーホール整備を実施する。
平13 . 3 . 15	消防緊急通信指令施設設計を完了する。
平13 . 4 . 1	消防職員122名
平13 . 12 . 25	発電・変電収納庫(ブロック造、平屋、29.11㎡)を新築する。

平14 . 3 . 27	消防本部指令課へ、消防無線全国共通波 5W、148.75MHz、154.15MHzを整備する。 消防本部指令課へ、消防緊急通信指令施設(I型)を整備する。
平14 . 4 . 1	消防職員124名
平15 . 3 . 24	高規格救急車及び高度救命処置用資器材を購入し、海上分署へ配置する。
平15 . 4 . 1	消防職員の定数条例を改正する。定員を135名とする。 消防職員125名
平16 . 4 . 1	消防職員126名
平17 . 3 . 25	高規格救急車及び高度救命処置用資器材を購入し、干潟分署へ配置する。
平17 . 4 . 1	消防職員129名
平17 . 7 . 1	旭市外三町消防組合を構成する、旭市、海上町、飯岡町、干潟町が合併し、新旭市の誕生により、旭市消防本部・消防署が発足する。 条例定数138名 消防職員128名
平18 . 3 . 22	高規格救急車及び高度救命処置用資器材を購入し、消防署へ配置する。
平18 . 3 . 28	携帯電話からの119番通報の直接受信を開始する。
平18 . 4 . 1	消防職員129名
平18 . 11 . 17	水槽付消防ポンプ自動車を購入し、飯岡分署へ配置する。
平19 . 2 . 2	高規格救急車及び高度救命処置用資器材を購入し、飯岡分署へ配置する。
平19 . 4 . 1	消防職員129名
平19 . 10 . 19	水槽付消防ポンプ自動車を購入し、干潟分署へ配置する。
平20 . 1 . 25	救助工作車(Ⅱ型)・救助用資器材を購入し、消防署へ配置する。
平20 . 4 . 1	消防職員128名
平20 . 8 . 22	はしご付消防自動車のオーバーホール整備を実施する。
平21 . 3 . 23	携帯・IP電話位置情報システム(簡易型)整備する。
平21 . 4 . 1	消防職員130名
平21 . 12 . 24	水槽付消防ポンプ自動車を購入し、消防署へ配置する。
平22 . 2 . 26	指揮車(救命ボートトレーラー付)を購入し、消防署へ配置する。
平22 . 4 . 1	消防職員129名
平22 . 5 . 13	高規格救急車及び高度救命処置用資器材を購入し、消防署へ配置する。
平23 . 2 . 21	消防ポンプ自動車を購入し、飯岡分署へ配置する。
平23 . 3 . 11	東日本大震災により飯岡分署、消防署水槽付消防ポンプ自動車が被災する。
平23 . 4 . 1	消防職員128名 消防本部の機構を改編により総務課・予防課・警防課の3課とする。
平23 . 6 . 1	海上分署を海上支所内に移転し、消防業務を開始する。
平24 . 3 . 22	水槽付消防ポンプ自動車を購入し、消防署へ配置する。
平24 . 4 . 1	消防職員126名 飯岡分署を飯岡支所内に移転し、消防業務を開始する。
平24 . 8 . 22	連絡車を購入し、消防本部へ配置する。
平25 . 3 . 7	ちば消防共同指令センターへ119番回線の切替を実施する。
平25 . 4 . 1	消防職員124名 ちば消防共同指令センターで共同運用を開始する。

平25 . 4 . 1	消防救急デジタル無線を整備し運用を開始する。
平25 . 6 . 27	広報車を購入し、消防本部へ配置する。
平25 . 8 . 20	はしご付消防自動車のオーバーホール整備を実施する。
平26 . 3 . 28	干潟分署の耐震補強工事を実施する。
平26 . 4 . 1	消防職員126名
平27 . 2 . 25	消防ポンプ自動車を購入し、海上分署へ配置する。
平27 . 4 . 1	消防職員126名
平27 . 10 . 30	指令車を購入し、消防本部へ配置する。
平27 . 10 . 30	搬送車を購入し、消防署へ配置する。
平28 . 1 . 29	化学消防車を購入し、消防署へ配置する。
平28 . 4 . 1	消防職員125名
平28 . 10 . 27	高規格救急車及び高度救命処置用資器材を購入し、干潟分署へ配置する。
平28 . 11 . 7	消防ポンプ自動車を購入し、干潟分署へ配置する。
平28 . 11 . 22	はしご付消防自動車を購入し、消防署へ配置する。
平29 . 4 . 1	消防職員122名
平30 . 4 . 1	消防職員123名

## 2. 消防機構(組織)



### 3. 消防施設

平成30年4月1日 現在

区分	所在地	敷地面積 (m <sup>2</sup> )	用途	構造	延床面積 (m <sup>2</sup> )	建築年月日
消防本部・消防署	旭市イの 2953番地1	4,564.20	庁舎	鉄筋コンクリート造 2階建	1,235.70	昭和60年12月23日
			車庫(北)	鉄骨造 平屋建	387.91	〃
			車庫(南)	鉄骨造 平屋建	138.08	〃
			浄化槽室	鉄筋コンクリート 平屋建	9.05	〃
			救急消毒室	木造 平屋建	39.74	平成8年2月28日
			訓練塔	鉄骨造(高さ21m) 一部倉庫	90.00	平成9年2月20日
			発電・変電収納庫	コンクリートブロック造 平屋建	29.11	平成13年12月25日
海上分署	旭市高生 1番地	9,467.39	支所庁舎	鉄骨コンクリート造 3階建	113.90 (2,879.50)	平成23年6月1日 改築 (昭和59年8月)
飯岡分署	旭市萩園 1800番地	10,576.42	支所庁舎	鉄筋コンクリート造 2階建	125 (2,295.91)	平成24年4月1日 改築 (昭和49年1月)
干潟分署	旭市南堀之内 17番地	1,010.20	庁舎	鉄筋コンクリート造 2階建	354.73	昭和46年8月10日

## 4. 面積・人口・世帯数

区 分	面 積 ( km <sup>2</sup> )	国 勢 調 査 ( H27.10.1 )		人 口 ( 平 成 30 年 4 月 1 日 )			世 帯 数
		人 口	世 帯 数	男	女	合 計	
旭 市	130.45	66,586	23,350	32,577	33,579	66,156	25,947

## 5. 基準消防力と現有消防力との比較

平成30年4月1日 現在

種 別		区 分	基 準 数	現 有 数	不 足 数
消 防 本 部 ・ 署	消 防 署 所 の 数		4	4	
	消 防 ポ ン プ 自 動 車		8 台	(予備車を含む) 9 台	
	化 学 車		1 台	1 台	
	梯 子 車		1 台	1 台	
	救 助 工 作 車		1 台	1 台	
	特 殊 車 等 ( 調 査 車 ・ 支 援 車 等 )		3 台	3 台	
	救 急 車		4 台	(予備車を含む) 5 台	
消 防 職 員			163 人	123 人	40 人
消 防 団	市街地(台数・口数)		4 台 9 (口)	4 台 9 (口)	
	準市街地(台数・口数)		15 台 23 (口)	15 台 23 (口)	
	その他の地域(口数)		6 (口)	6 (口)	

## 6. 現有消防力に対する面積・人口・世帯数

平成30年4月1日 現在

組 織	区 分	消 防 力	面 積 ( km <sup>2</sup> )	人 口 ( 人 )	世 帯 数
消 防 本 部	1 署 々 当 たり		32.61	16,539	6,487
	ポ ン プ 1 台 あ たり		14.49	7,351	2,883
	消 防 職 員 1 人 あ たり		1.06	538	211
消 防 団	ポ ン プ 1 台 あ たり		2.78	1,408	552
	消 防 団 員 1 人 当 たり		0.17	86	34

## 7. 予算(当初)決算の推移

単位:千円

年 度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
当 初 予 算 額	26,880,000 (1,289,068)	28,930,000 (1,118,927)	27,380,000 (1,235,108)	28,270,000 (1,653,958)	28,610,000 (1,214,538)
歳 出 決 算 額	28,955,433 (1,140,975)	28,574,111 (1,199,013)	28,638,075 (1,176,609)	31,213,889 (1,490,048)	

( )内は消防費

## 8. 消防本部車両配置状況

区分 配置先	呼称	車種	シャシー メーカー	年式	無線	ポンプ 級別	ポンプ等メーカー
消防本部	旭本部司令1	指令車	ホンダ	平成27年	有		
	旭本部広報1	調査広報車	ニッサン	平成25年	有		
	旭本部予防1	調査広報車	トヨタ	平成17年	有		
	旭本部調査1	調査広報車	ニッサン	平成12年	無		
	旭本部連絡1	連絡車	ニッサン	平成24年	有		
	小型連絡車	連絡車	三菱	平成14年	無		
消防署 (本署)	旭指揮1	指揮車	ホンダ	平成22年	有		
	旭水槽1	水槽付ポンプ車	日野	平成24年	有	A2級	モリタ
	旭ポンプ1	普通ポンプ車	いすゞ	平成16年	有	A2級	GMいちはら工業
	旭ポンプ2	普通ポンプ車	いすゞ	平成9年	有	A2級	GMいちはら工業
	旭化学1	化学車	日野	平成28年	有	A2級	GMいちはら工業
	旭救助1	救助工作車	日野	平成20年	有		モリタ
	旭梯子1	梯子車	日野	平成28年	有		モリタ
	旭救急1	高規格救急車	トヨタ	平成22年	有		エイバン商事(資機材)
	旭救急2	高規格救急車	トヨタ	平成17年	有		フクダ電子(資機材)
	旭資機材1	搬送車	ニッサン	平成27年	有		
	旭資機材2	支援車	トヨタ	平成15年	有		
	小型連絡車	連絡車	ニッサン	平成23年	無		
海上分署	旭海上水槽1	水槽付ポンプ車	日野	平成16年	有	A2級	日本造機
	旭海上ポンプ1	普通ポンプ車	日野	平成27年	有	A2級	モリタ
	旭海上救急1	高規格救急車	トヨタ	平成19年	有		フクダ電子(資機材)
	小型連絡車	連絡車	三菱	平成14年	無		
飯岡分署	旭飯岡水槽1	水槽付ポンプ車	日野	平成18年	有	A2級	日本造機
	旭飯岡ポンプ1	普通ポンプ車	日野	平成23年	有	A2級	GMいちはら工業
	旭飯岡救急1	高規格救急車	トヨタ	平成18年	有		フクダ電子(資機材)
	小型連絡車	連絡車	スズキ	平成15年	無		
干潟分署	干潟水槽1	水槽付ポンプ車	日野	平成19年	有	A2級	GMいちはら工業
	干潟ポンプ1	普通ポンプ車	日野	平成28年	有	A2級	モリタ
	干潟救急1	高規格救急車	トヨタ	平成28年	有		エイバン商事(資機材)
	小型連絡車	連絡車	三菱	平成16年	無		

## 9. 歴代消防長

昭和42年10月1日 旧旭市消防本部を設立

歴代	消防長名		摘要
初代	平川 清	自 昭和 42年 10月 1日 至 昭和 45年 3月 31日	旭市助役兼任
2代	伊藤 政秋	自 昭和 45年 4月 1日 至 昭和 45年 4月 16日	旭市長兼任
旭市・飯岡町・海上町・干潟町で旭市外三町消防組合を設立			
初代	伊藤 政秋	自 昭和 45年 4月 17日 至 昭和 46年 5月 31日	組合長兼任
2代	鶴岡 良介	自 昭和 46年 6月 1日 至 昭和 50年 5月 31日	専任
3代	大木 利一	自 昭和 50年 6月 1日 至 昭和 53年 4月 30日	専任
4代	林 俊二	自 昭和 53年 5月 1日 至 昭和 57年 6月 30日	専任
5代	関口 清	自 昭和 57年 7月 1日 至 昭和 59年 3月 31日	専任
6代	飯田 省三	自 昭和 59年 4月 1日 至 昭和 61年 3月 31日	専任
7代	下妻 文男	自 昭和 61年 4月 1日 至 平成 元年 3月 30日	専任
8代	仲條 栄樹	自 平成 元年 4月 1日 至 平成 4年 3月 31日	専任
9代	矢指 本静幸	自 平成 4年 4月 1日 至 平成 8年 3月 31日	専任
10代	飯田 繁	自 平成 8年 4月 1日 至 平成 11年 3月 31日	専任
11代	石毛利 夫	自 平成 11年 4月 1日 至 平成 13年 12月 31日	専任
12代	椎名 秋雄	自 平成 14年 1月 1日 至 平成 16年 3月 30日	専任
13代	佐久間 正	自 平成 16年 4月 1日 至 平成 17年 3月 31日	専任
旭市・飯岡町・海上町・干潟町の合併により旭市消防本部を設立			
初代	佐藤 眞一	自 平成 17年 7月 1日 至 平成 20年 3月 31日	専任
2代	菅谷 衛一	自 平成 20年 4月 1日 至 平成 22年 3月 31日	専任
3代	佐藤 清和	自 平成 22年 4月 1日 至 平成 27年 3月 31日	専任
4代	品村 順一	自 平成 27年 4月 1日 至 平成 29年 3月 31日	専任
5代	加瀬 寿勝	自 平成 29年 4月 1日 至 平成 30年 3月 31日	専任
6代	川口 和昭	自 平成 30年 4月 1日	専任



## 10. 消防職員配置状況

平成30年4月1日 現在

階級別 区分		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務員 吏員	計
消防本部	消防長	1								1
	総務課		1	2	5 (1)				3 (1)	11 (2)
	予防課		1	1	3 (1)	2				7 (1)
	警防課		1	1	5 (1)					7 (1)
	小計	1	3	4	13 (3)	2			3 (1)	26 (4)
消防署	署長		1							1
	副署長			3						3
	旭消防署			2	14	12	8	3		39
	海上分署				9	6	1	2		18
	飯岡分署			1	9	5	2	1		18
	干潟分署			1	9	5	1	2		18
	小計		1	7	41	28	12	8		97
合計	1	4	11	54 (3)	30	12	8	3 (1)	123 (4)	

( )内は女子数

## 11. 消防職員階級別年齢表

平成30年4月1日 現在

階級別 区分	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務員 吏員	計
18歳～20歳							5		5
21歳～25歳						6	3		9
26歳～30歳					15	6		1	22
31歳～35歳				8	15				23
36歳～40歳				16					16
41歳～45歳				23 (3)				1	24 (3)
46歳～50歳			5	7					12
51歳～55歳		4	5					1 (1)	10 (1)
56歳以上	1		1						2
合計	1	4	11	54 (3)	30	12	8	3 (1)	123 (4)

( )内は女子数

## 12. 消防職員勤続年数

平成30年4月1日 現在

5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上 35年未満	35年以上	計
14	12	33	15	21 (4)	15	2	11	123 (4)

事務吏員含む ( )内は女子数

### 13. 消防研修機関派遣状況

区 分	年 度	昭	平	平	平	平	平	合	
		和	成	成	成	成	成		
		4	2	2	2	2	2	計	
		年	4	5	6	7	8		
		度	年度	年度	年度	年度	年度		
		5	年度	年度	年度	年度	年度		
消 防 大 学 校	上級幹部科		2					2	
	幹部研修科		9			1		10	
	警防科		9				1	1	11
	予防科		3						3
	救急科		2						2
	救助科		9	1					10
	火災調査講習会		2						2
	新任教官科		1				1		2
千 葉 県 消 防 学 校	初任科		199	4	5	3		1	212
	初級幹部科		32						32
	中級幹部科		21						21
	幹部特別研修科		6						6
	警防課程		10						10
	特殊災害科		4	1	1	1	1	1	9
	救助科		38	1	1	1	1	1	43
	水難救助課程		9						9
	無線通信課程		14						14
	予防査察科		3	1	1	1	1	2	9
	火災調査科		8	1	2	2	2	2	17
	危険物課程		1						1
	救急Ⅰ課程		74						74
	救急Ⅱ課程		32						32
	救急科		91	4	3	3	3	3	107
	訓練指導科		68	1	1	1	1	1	73
	管理職科		1						1
	機械科		4						4
	はしご自動車講習		35	1	1	1	1	1	40
	薬剤投与・気管挿管講習		4						4
薬剤投与講習		3						3	
処置範囲拡大2行為追加講習					1	5		6	
研 修 所	救急救命士養成研修		17	1	1	1	1	1	22
	薬剤投与講習		6						6
	指導救命士養成研修				1		1		2
	処置拡大追加講習					2			2
安全運転研修所			7	2	2	2	2	2	17
合 計			724	18	20	24	16	16	818

# 14. 資格取得状況

平成30年4月1日 現在

資格等の名称		階 級						合 計
		消以 防司 令上 長	消 防司 令	消 防司 令補	消 防士 長	消 防副 士長	消 防 士	
車 輛 船 舶 関 係	大型自動車運転免許	4	10	45	30	11	2	102
	中型自動車運転免許		1	2		1		4
	大型特殊自動車運転免許			3				3
	けん引自動車免許			4				4
	小型船舶操縦免許	1	1	12	3			17
労 基 関 係	衛生管理者	1	1	3				5
	潜水士	2	4	19	15	6		46
	特定化学物質等作業主任者	1	3	5				9
	小型移動式クレーン	2	6	18	6			32
	玉掛け技能講習	3	4	19	7			33
	ガス溶接技能講習	3	3	13	4	1		24
	酸素欠乏危険作業主任者	2	4	13	6			25
消 防 関 係	救急救命士	1	4	15	6	1	1	28
	救急(Ⅱ)	2	8	2				12
	救急(標準)	3	3	49	26	9		90
	予防技術資格者	1	1	7				9
	危険物取扱者(乙種)			27	25	9	3	64
	危険物取扱者(丙種)		1	5				6
	第2級陸上特殊無線技士	5	10	3				18
	第3級陸上特殊無線技士		1	50	29	10	3	93
	特別管理産業廃棄物管理責任者講習		2	10				12

## 15. 通信指令業務の概要

平成25年4月1日より、千葉県北東部・南部ブロックの20消防本部で構築した「ちば消防共同指令センター」の運用が本格的に開始され、当消防本部で行っていた通信指令業務を千葉市消防局内に設置された「ちば消防共同指令センター」へ完全に移行しました。

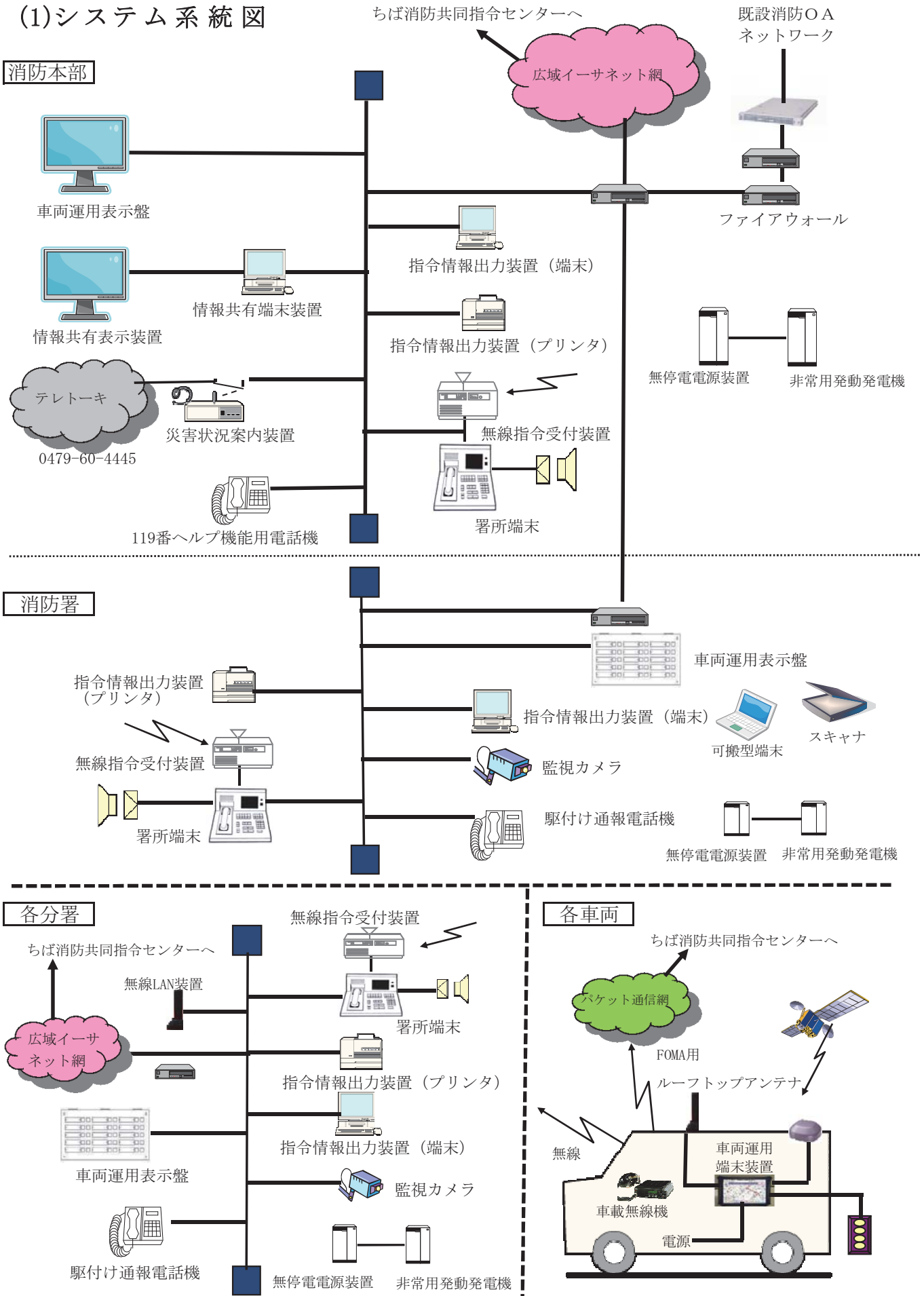
共同運用を行うことで、業務の効率化が図れるとともに、各消防本部の連携及び情報の共有化が可能となり、隣接地域や大規模な災害時の相互応援体制が充実強化されています。

また、通信指令業務に従事する職員として当消防本部から平成30年4月1日現在、2名の職員が出向しています。



(ちば消防共同指令センター)

# (1) システム系統図



## (2) 消防救急無線装置の概要

### 1 アナログ無線

平成30年4月1日 現在

区分		所属別	出力 (W)	総務課	予防課	警防課	旭消防署	海上分署	飯岡分署	干潟分署	計
				局数							
陸上移動局 (携帯型)	署活動系	署活動波1	1				10	5	5	5	25
		署活動波2									
		関東共通波									
		防災相互波									

### 2 デジタル無線

無線局の種別	出力 (W)	区分		識別信号	局数
遠隔制御器 消防本部警防課(通信室)	10	活動波	消防波	えんせい あさひ しょうぼう	1
			救急波		
		主運用波	主運用波2		
		統制波	統制波1		
			統制波2		
			統制波3		
近隣消防本部 活動波					

区分		所属別	出力 (W)	総務課	予防課	警防課	旭消防署	海上分署	飯岡分署	干潟分署	計
				局数							
陸上移動局	車載型移動局無線装置	5	5	2	2	1	11	3	3	3	25
	携帯型移動局無線装置				1	1	14	5	5	5	31
	卓上型移動局無線装置					2					2
	可搬型移動局無線装置					1	1				2

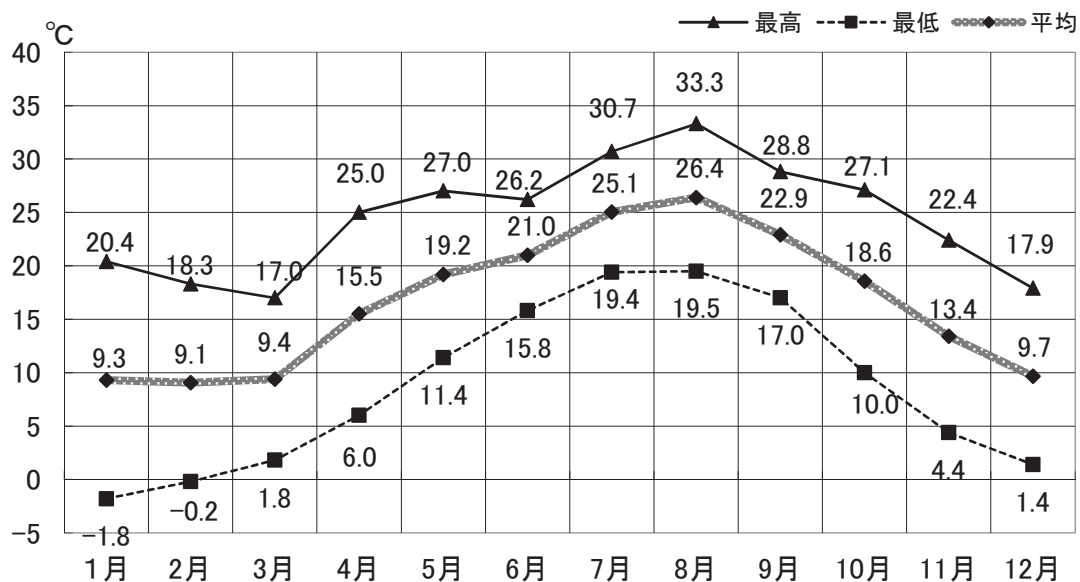
## 16. 119番受理回数(4年間)

年別 種別	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	合 計
火 災	45	30	33	44	152
救 急	2,040	2,297	2,325	2,259	8,921
救 助	25	28	32	32	117
その他 の災害	285	281	355	414	1,335
続報	138	111	144	137	530
問合せ	102	97	114	87	400
間違い	181	144	122	117	564
試験	104	172	213	232	721
その他	244	314	294	254	1,106
合 計	3,164	3,474	3,632	3,576	13,846

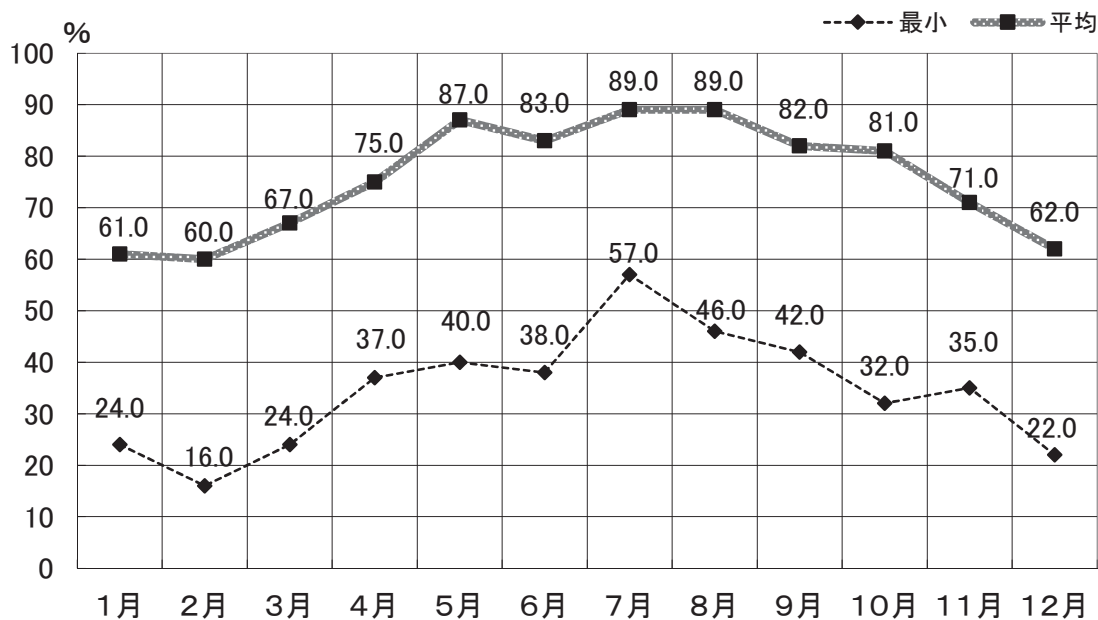
※ 「ちば消防共同指令センター」統計

# 17. 平成 29 年 気象 観測 状況

## (1) 最高・最低・平均気温

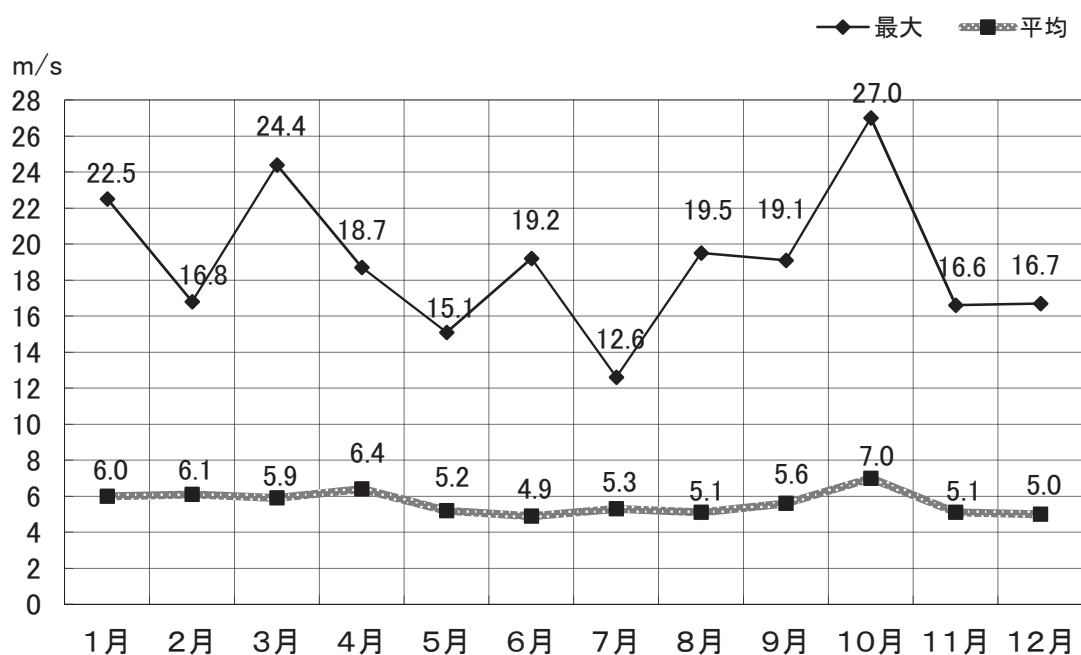


## (2) 最小・平均相対湿度

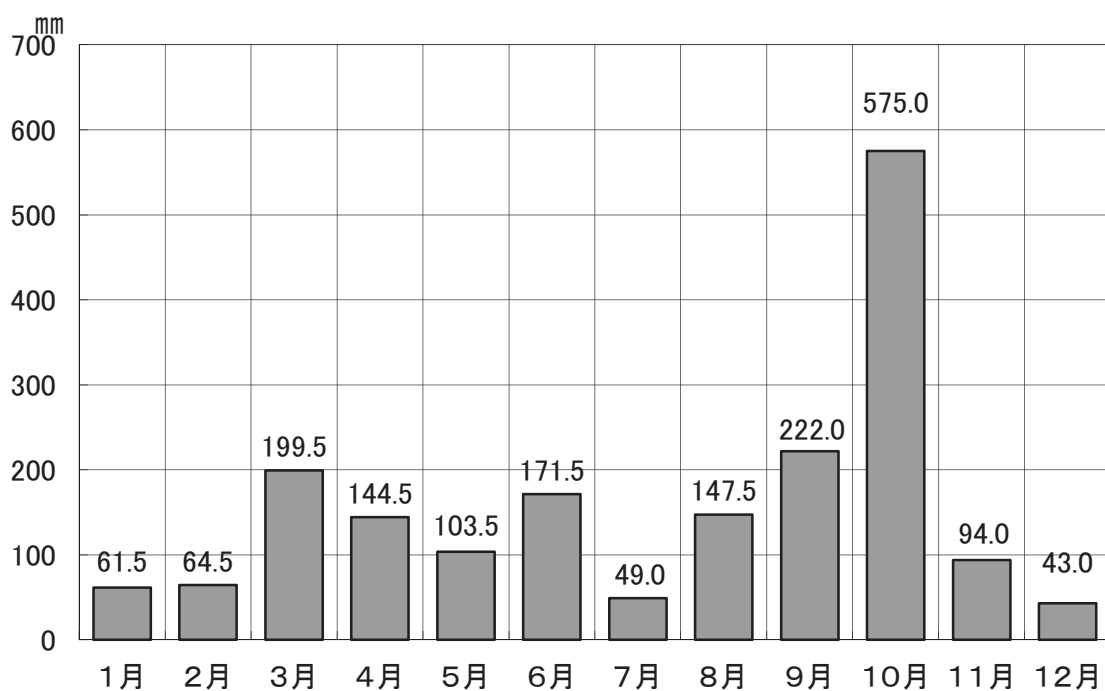




### (3) 最大・平均風速



### (4) 降雨量



※気象庁ホームページ「過去の気象観測データ

<http://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/obsdl/index.php>より銚子地方気象台過去データをもとに旭市消防本部が作成しました。

## 18. 消防法に定める防火対象物数(地域別)

(消防用設備を必要とする対象物)

平成30年4月1日 現在

用途(防火対象物)	地域別				
	旭地域	海上地域	飯岡地域	干潟地域	合計
劇場、映画館、観覧場	2	1		1	4
公会堂、集会場	14	3	5	8	30
キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類					
遊技場、ダンスホール	7	1			8
カラオケボックス、インターネットカフェ	1				1
待合、料理店の類					
飲食店	64	4	8	5	81
百貨店、マーケット、物品販売業店舗	115	9	6	8	138
旅館、ホテル、宿泊所	12	1	18	1	32
寄宿舎、下宿、共同住宅	259	42	34	8	343
病院、診療所、助産所	34	3	1	1	39
老人ホーム、救護、障害者支援施設	18	3	3	3	27
デイサービスセンター、福祉施設、保育所	59	31	9	5	104
幼稚園、特別支援学校	5	1	1		7
小学校、中学校、高等学校、各種学校	61	9	7	8	85
図書館、博物館、美術館	1	1	1	1	4
蒸気浴場、熱気浴場					
公衆浴場	1				1
車両の停車場、船舶又は航空機の発着場	1				1
神社、寺院、教会の類	9	2			11
工場、作業場	243	28	50	35	356
自動車車庫、駐車場	16	3	2	4	25
倉庫	176	30	30	25	261
銀行、官公署等の事務所	169	66	64	47	346
複合用途(特定防火対象物)	123	8	16	3	150
上記以外の複合用途	39	3	4	2	48
重要文化財等				2	2
合 計	1,429	249	259	167	2,104

## 19. 地域別中高層建築物数

平成30年4月1日 現在

階数	地域別	旭地域	海上地域	飯岡地域	干潟地域	合計
3階		122	13	25	12	172
4階		24	3	3	2	32
5階		11	1	4		16
6階		9				9
7階		2		1		3
8階		2				2
10階		2				2
12階		1				1
合計		173	17	33	14	237

## 20. 地域別危険物施設数

平成30年4月1日 現在

製造所等 地域別	製造所	貯蔵所							取扱所				合計
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所	
旭地域	4	12	28	4	37		20	43	30	3		29	210
海上地域	2	3	12		6		11	2	9			5	50
飯岡地域		2	6		8			1	8			7	32
干潟地域	1	7	20		3		6	1	10			12	60
合計	7	24	66	4	54		37	47	57	3		53	352

## 21. 地域別消防水利状況

平成30年4月1日 現在

区分 地域別	防 火 水 槽					消 火 栓	池	河 川	プ ー ル	合 計
	20m <sup>3</sup> 以上 40m <sup>3</sup> 未満	40m <sup>3</sup> 以上 60m <sup>3</sup> 未満	60m <sup>3</sup> 以上 100m <sup>3</sup> 未満	100m <sup>3</sup> 以上	小 計					
旭地域	59	198 (50)	16	7 (4)	280 (54)	1,070	4	12	10	1,376 (54)
海上地域	10	87 (16)	4	5 (4)	106 (20)	198	3	6	3	316 (20)
飯岡地域	12	53 (13)	5	4	74 (13)	195	1	1	3	274 (13)
干潟地域	22	29 (9)	13	1 (1)	65 (10)	184			2	251 (10)
合 計	103	367 (88)	38	17 (9)	525 (97)	1,647	8	19	18	2,217 (97)

※ ( )内は耐震性

## 22. 年 別 火 災 発 生 状 況

区 分		年 別					
		平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	
火 災 件 数		27	31	29	23	26	
損 害 額 (千円)		42,768	674,186	70,518	137,495	79,612	
建 物 火 災	件 数	11	20	15	13	8	
	焼 損 棟 数	全 焼	5	13	3	11	4
		半 焼	2	2	2	1	2
		部 分 焼	5	8	3	11	2
		ぼ や	2	5	7	12	5
		合 計	14	28	15	35	13
	焼損面積 (㎡)	892	6,221	824	1,606	797	
	焼表面積 (㎡)	102	13	2	73	4	
	損 害 額 (千円)	40,269	667,306	69,850	135,601	76,733	
	林 野 火 災	件 数	1	0	2	0	0
焼損面積 (a)		22	0	25	0	0	
損 害 額 (千円)		50	0	0	0	0	
車 両 火 災	件 数	2	3	5	4	4	
	焼損台数 (台)	3	3	5	4	3	
	損 害 額 (千円)	1,516	175	664	308	1,469	
船 舶 火 災	件 数	0	0	0	0	0	
	焼損隻数 (隻)	0	0	0	0	0	
	損 害 額 (千円)	0	0	0	0	0	
そ の 他	件 数	13	8	7	6	14	
	損 害 額 (千円)	933	6,705	4	1,586	1,410	
死 者		2	2	1	5	3	
負 傷 者		2	7	3	4	5	

## 23. 平成29年地域別火災発生状況

区分		地域別				合計	
		旭地域	海上地域	飯岡地域	干潟地域		
火災件数		15	2	5	4	26	
損害額(千円)		7,819	23,988	47,805	0	79,612	
建物火災	件数	4	2	2	0	8	
	焼損面積(m <sup>2</sup> )	91	307	399	0	797	
	焼表面積(m <sup>2</sup> )	2	1	1	0	4	
	損害額(千円)	7,318	23,988	45,427	0	76,733	
	焼損棟数	全焼	0	2	2	0	4
		半焼	1	0	1	0	2
		部分焼	2	0	0	0	2
		ぼや	2	1	2	0	5
		合計	5	3	5	0	13
	罹災世帯(帯)		3	1	1	0	5
罹災人員(人)		12	4	5	0	21	
林野火災	件数	0	0	0	0	0	
	焼損面積(a)	0	0	0	0	0	
	損害額(千円)	0	0	0	0	0	
車両火災	件数	1	0	2	1	4	
	焼損台数(台)	1	0	2	0	3	
	損害額(千円)	166	0	1,303	0	1,469	
船舶火災	件数	0	0	0	0	0	
	焼損隻数(隻)	0	0	0	0	0	
	損害額(千円)	0	0	0	0	0	
その他	件数	10	0	1	3	14	
	損害額(千円)	335	0	1,075	0	1,410	
死者		3	0	0	0	3	
負傷者		2	0	3	0	5	

## 24. 年別・原因別火災発生件数

原因別		年 別		平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	合計	
		平成25年	平成26年							
一 般 火 災	たき火									
	たばこ	2	1	2	1				6	
	こんろ	まき								
		ガス				2	1			3
	かまど	電気								
		まき								
	風呂釜	ガス								
		石油								
	マッ	チ								
	ライ	ター		1		1			2	
	取火・残火の	不始末					1			1
	灯	火								
	線香・蚊取線香		1							1
	こたつ	炭・練炭								
		電気								
	煙	突								
天ぷら	鍋				1				1	
焼却	炉									
花	火		1						1	
電 気 関 係	電	球			1				1	
	電気配線	等		2	1		2		5	
	電線	スパーク			1				1	
	モーター									
	配電	盤								
	変圧	器								
	電気	毛布								
	保温	器								
	電気	ストーブ								
電気	カーペット									
石 油 ・ ガ ス	ボイラー									
	乾燥機									
	溶接	火花	1						1	
	石油	ストーブ			1	1			2	
	ガス	ストーブ			1				1	
溶断	器									
車 両	交通	事故			1	1			2	
	燃料	漏れ								
	エンジン	に接触								
	排気	管								
配線	ショート		1				1	2		
故 意	放火・放火の	疑い	4	4	8	2	2		20	
	火	遊び								
そ の 他	取	灰								
	火入れの	火粉・枯草	2	1	4	1	6		14	
	虫	焼き火					1		1	
	溶接・切断機	の火花		1	1		1		3	
	その	の他	4	4	4	3	2		17	
高温物の	接触		1					1		
不明	・調査	中	13	14	3	10	10		50	
不 合	計		27	31	29	23	26		136	

## 25. 年別救急出動件数

年別	種別 出動件数 搬送件数 不搬送件数 搬送人員	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			合計
												転院搬送	医師搬送	その他の他	
平成25年	出動件数	27	1	3	357	25	10	318	15	27	1,937	78	1	20	2,819
	搬送件数	4		1	329	24	10	303	12	18	1,828	76			2,605
	不搬送件数	23	1	2	28	1		15	3	9	109	2	1	20	214
	搬送人員	5		1	411	24	10	304	13	18	1,829	76			2,691
平成26年	出動件数	42	1	3	322	33	18	309	13	30	1,839	52		16	2,678
	搬送件数	4	1		294	32	18	298	9	18	1,726	51		4	2,455
	不搬送件数	38		3	28	1		11	4	12	113	1		12	223
	搬送人員	6	1		393	32	19	299	11	18	1,728	51		4	2,562
平成27年	出動件数	20		7	345	32	16	355	13	22	1,879	65		32	2,786
	搬送件数	3		1	323	30	16	338	11	18	1,764	65		3	2,572
	不搬送件数	17		6	22	2		17	2	4	115			29	214
	搬送人員	5		1	394	30	16	338	11	19	1,766	65		3	2,648
平成28年	出動件数	22		5	282	34	15	350	19	37	1,994	77		53	2,888
	搬送件数	6		1	261	32	15	332	14	22	1,885	74		4	2,646
	不搬送件数	16		4	21	2		18	5	15	109	3		49	242
	搬送人員	6		1	313	32	15	332	14	22	1,887	75		4	2,701
平成29年	出動件数	24	1	7	296	36	15	332	12	28	1,954	72		40	2,817
	搬送件数	7		1	276	36	15	313	10	19	1,837	70		3	2,587
	不搬送件数	17	1	6	20			19	2	9	117	2		37	230
	搬送人員	7		1	353	36	16	315	10	19	1,839	70		3	2,669
5年間	出動件数合計	135	3	25	1,602	160	74	1,664	72	144	9,603	344	1	161	13,988



## 26. 年別・地区別・救急発生件数

年 別 地 区 別		平	平	平	平	平	5 年 間		
		成 25 年	成 26 年	成 27 年	成 28 年	成 29 年	地 区 別 小 計	地 域 別 合 計	地 域 別 比 率 (%)
旭 地 域	中 央	676	630	649	754	661	3,370	8,381	59.9
	矢 指	214	174	190	205	174	957		
	富 浦	181	188	159	176	190	894		
	干 潟	191	160	187	156	203	897		
	豊 畑	138	164	124	153	147	726		
	共 和	201	165	184	157	159	866		
	嚶 鳴	124	154	142	132	119	671		
海 上 地 域	嚶 鳴	163	159	170	187	175	854	1,901	13.6
	滝 郷	73	78	103	80	93	427		
	鶴 巻	105	121	123	140	131	620		
飯 岡 地 域	飯 岡	205	210	258	230	230	1,133	2,122	15.2
	三 川	189	171	166	151	174	851		
	埴	26	25	29	27	31	138		
干 潟 地 域	萬 歳	73	50	55	81	82	341	1,424	10.2
	中 和	111	88	103	118	86	506		
	古 城	129	112	116	94	126	577		
管 外		20	29	28	47	36	160		1.1
合 計		2,819	2,678	2,786	2,888	2,817	13,988		100.0

## 27. 平成29年地区別救急発生件数・搬送人員数

地区別	種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			地区別小計	地域別合計	
												転院搬送	医師搬送	その他の			
旭地域	中央	1			69	8	3	73	3	2	440	52		10	661	1,653	
					88	8	3	69	2	1	411	50		1	633		
	矢指	4		2	16	1		20			119	9		3	174		
		1			20	1		19			115	9		2	167		
	富浦	1		2	18	1		28		2	132	5		1	190		
					23	1		25		2	126	5			182		
	干潟	5			20	6	5	19	3		141			4	203		1,574
		4			27	6	6	19	3		133				198		
	豊畑	2			16	2		12			114			1	147		
					15	2		12			105				134		
	共和	2		1	17	2		17		1	116	2		1	159		
					20	2		16		1	106	2			147		
	嚶鳴				16			16		2	82	1		2	119		
					18			16		1	77	1			113		
海上地域	嚶鳴				12			22	5	6	126			4	175	399	
					14			18	4	5	113				154		
	滝郷	1			13			9			68	1		1	93		
					19			9			66	1			95		375
	鶴巻	1			11	1		15		1	99			3	131		
				12	1		15		1	97				126			
飯岡地域	飯岡	2	1	1	18	6	2	40		8	147	1		4	230	435	
				1	18	6	2	39		4	143	1			214		
	三川	1			12	2	1	19	1	3	131			4	174		
		1			16	2	1	18	1	3	123				165		408
	塙	3			3			2			22			1	31		
1				4			2			22				29			
干潟地域	萬歳	1		1	13	2		5		2	58				82	294	
					12	2		5		1	56				76		
	中和				19	1	3	10			53				86		286
					23	1	3	10			52				89		
	古城				17	3		22		1	83				126		
				17	3		22			79				121			
管外				6	1	1	3			23	1		1	36	36		
				7	1	1	1			15	1			26	26		
合計		24	1	7	296	36	15	332	12	28	1,954	72	0	40	2,817		
		7	0	1	353	36	16	315	10	19	1,839	70	0	3	2,669		

(注) 上段は発生件数、下段は搬送人員数

## 28. 特別救助隊のあゆみ

年	月	日	摘	要	
昭和	49	10	2	救助隊発足の基礎として消防学校救助科入校	2名
		11	1	隊長以下7名にて特別救助隊発足	
昭和	50	10	1	救助隊7名増員し隊長以下14名となる。	
昭和	54	8	24	第8回全国消防救助技術大会出場 ほふく救出	1位
昭和	55	8	29	第9回全国消防救助技術大会出場 梯子登はん	
昭和	56	8	9	第10回全国消防救助技術大会出場 ほふく救出 ほふく救出	3位
昭和	57	4	8	消防大学校救助科入校	1名
		8	19	第11回全国消防救助技術大会出場 梯子登はん	
昭和	59	4	10	消防大学校救助科入校	1名
		8	24	第13回全国消防救助技術大会出場 ほふく救出	2位
昭和	60	8	23	第14回全国消防救助技術大会出場 ほふく救出	2位
昭和	61	9	2	消防大学校救助科入校	1名
昭和	62	8	21	第16回全国消防救助技術大会出場 ほふく救出 梯子登はん	6位
昭和	63	8	19	第17回全国消防救助技術大会出場 梯子登はん ロープ応用登はん	
平成	元	8	25	第18回全国消防救助技術大会出場 梯子登はん	
平成	2	8	24	第19回全国消防救助技術大会出場 ロープ応用登はん 梯子登はん	
		9	26	消防学校救助科講師派遣	1名
平成	3	9	25	消防学校救助科講師派遣	1名
平成	4	8	28	第21回全国消防救助技術大会出場 ロープ応用登はん	3位
		9	26	消防学校救助科講師派遣	1名
平成	5	8	19	消防大学校救助科入校	1名
		9	6	消防学校救助科講師派遣	1名
平成	7	8	25	第24回全国消防救助技術大会出場 ロープ応用登はん	
平成	9	8	22	第26回全国消防救助技術大会出場 ロープ応用登はん	2位
平成	10	8	18	消防大学校救助科入校	1名
平成	11	8	19	第28回全国消防救助技術大会出場 ロープ応用登はん	

年	月	日	摘	要
平成	13	8	第30回全国消防救助技術大会出場 ロープ応用登はん	6位
			ロープブリッジ渡過	
平成	14	8	第31回全国消防救助技術大会出場 梯子登はん	
平成	16	8	第33回全国消防救助技術大会出場 梯子登はん	
			ロープ登はん	
		10	消防大学校救助科入校	1名
平成	17	8	消防大学校救助科入校	1名
平成	18	8	消防大学校救助科入校	1名
平成	19	8	第36回全国消防救助技術大会出場 ほふく救出	2位
		8	消防大学校救助科入校	1名
平成	20	9	消防学校救助科講師派遣	1名
平成	22	8	第39回全国消防救助技術大会出場 ほふく救出	
平成	24	8	第41回全国消防救助技術大会出場 ロープブリッジ渡過	
平成	25	8	第42回全国消防救助技術大会出場 ロープ応用登はん	6位
		8	消防大学校救助科入校	1名
平成	28	8	第45回全国消防救助技術大会出場 梯子登はん	

## 29. 特別救助隊編成表

平成30年4月1日 現在

階級 隊員	平成30年4月1日 現在				
	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
隊長	1				1
副隊長	2				2
隊員	3	7	8	1	19
合計	6	7	8	1	22

## 30. 年別救助出動状況

種別	年別		平成25年			平成26年			平成27年			平成28年			平成29年		
	区分		件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者
	種別	区分	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者
交通事故		27		40	25		33	18	1	25	22	1	29	18	2	29	
水難		3		1	2	1		5	2	2	3	3		5	3		
建物等による事故		2		1													
機械による事故					1		1	2		1	1		1				
火災																	
その他		14	2	9	13	6	3	17	3	6	18	4	6	19	2	6	
合計		46	2	51	41	7	37	42	6	34	44	8	36	42	7	35	

### 31. 平成 29 年 救 助 活 動 状 況

種 別	区 分	出 動 件 数	左のうち、救助活動に従事したもの		
			件 数	死 者	負 傷 者
交 通 事 故		18	8		14
水 難		5	1	1	
建物等による事故					
機械による事故					
そ の 他		19	5	1	3
合 計		42	14	2	17

### 32. 平成 29 年 地 域 別 救 助 出 動 件 数

種 別	区 分	旭 地 域			海 上 地 域			飯 岡 地 域			干 潟 地 域			合 計		
		件 数	死 者	負 傷 者	件 数	死 者	負 傷 者	件 数	死 者	負 傷 者	件 数	死 者	負 傷 者	件 数	死 者	負 傷 者
交 通 事 故		12		23				2	1		4	1	6	18	2	29
水 難		4	2								1	1		5	3	
建物等による事故																
機械による事故														0		0
そ の 他		10	1	5	3			6	1	1				19	2	6
合 計		26	3	28	3			8	2	1	5	2	6	42	7	35

### 33. 平成 29 年消防隊出動状況

月 別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合 計
火 災	回 数	4	2	5	2	0	3	3	2	1	0	1	3	26
	出動台数	22	11	29	12	0	23	18	8	5	0	7	14	149
	延 人員	69	35	94	37	0	69	54	25	15	0	20	48	466
火(管外) 災	回 数	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
	出動台数	2	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	5
	延 人員	5	0	3	0	0	6	0	0	0	0	0	0	14
救急支援	回 数	59	30	39	24	35	21	14	25	19	24	30	33	353
	出動台数	59	30	39	24	35	21	14	25	19	24	30	33	353
	延 人員	163	98	125	83	109	68	77	76	66	77	91	100	1,133
風水害	回 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	89	0	0	89
	出動台数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	89	0	0	89
	延 人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	341	0	0	341
危険物排除	回 数	0	2	2	3	1	2	4	1	2	3	1	1	22
	出動台数	0	3	3	9	3	5	8	2	5	6	2	2	48
	延 人員	0	10	9	26	10	15	24	5	15	20	5	7	146
特別警戒	回 数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	出動台数	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3
	延 人員	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	11
非 火 災	回 数	0	1	4	0	2	1	6	2	1	6	1	4	28
	出動台数	0	4	21	0	9	6	33	12	6	39	5	21	156
	延 人員	0	13	65	0	25	18	100	38	19	118	15	61	472
合 計	回 数	65	35	51	29	38	28	28	30	23	122	33	41	523
	出動台数	83	48	93	45	47	57	76	47	35	158	44	70	803
	延 人員	237	156	296	146	144	176	266	144	115	556	131	216	2,583

# 消 防 团







## 【 消 防 団 】

1 旭市消防団の概要	33
2 階級別消防団員数	34
3 消防団員配置状況	34
4 所属別消防団員勤続年数表	35
5 階級別消防団員年齢表	35
6 消防団及び消防団員に関すること	36
(1) 年間の主な行事（平成29年度）	36
(2) 消防団の出動状況（平成29年中）	36
(3) 団員の処遇	37
ア 報酬・手当	37
イ 退職報償金	37
ウ 補償制度	37
7 旭市消防団警戒区域・火災出動範囲表	38
8 消防団の配置車両状況	39
(1) 第1・2中隊	39
(2) 第3中隊	40
(3) 第4中隊	40
(4) 第5中隊	41



# 1. 旭市消防団の概要

## (1) 旭市消防団の経緯

平成 17 年 7 月 1 日、旭市、海上町、飯岡町、干潟町が合併し、新「旭市」の誕生により、旧 1 市 3 町の消防団を統合した現在の旭市消防団が発足した。消防団本部を消防本部内に設置した。

## (2) 消防団の現況（平成 30 年 4 月 1 日 現在）

・ 団員定数	769 名	
・ 実団員数	767 名	（うち機能別団員 28 名）
・ 団構成	団本部 5 中隊 16 分団	47 部
・ 車両構成	① 水槽付消防ポンプ自動車	7 台
	② 消防ポンプ自動車	12 台
	③ 小型ポンプ積載車	28 台
		計 47 台
	団本部連絡車	1 台

## 2. 階級別消防団員数

平成30年4月1日 現在

階級	団長	副団長	(分本部員含む)分団長	副分団長	部長	班長	団員	機能別団員	合計
実員数	1	5	32	16	47	94	544	28	767

## 3. 消防団員配置状況

平成30年4月1日 現在

階級		分団長	副分団長	部長	班長	団員	機能別団員	合計
第1中隊	第1分団	1	1	3	6	46	0	57
	第2分団	1	1	3	6	27	6	44
	第3分団	1	1	3	6	35	3	49
第2中隊	第4分団	1	1	3	6	31	5	47
	第5分団	1	1	3	6	34	2	47
	第6分団	1	1	3	6	33	3	47
	第7分団	1	1	2	4	21	1	30
第3中隊	第1分団	1	1	3	6	35	2	48
	第2分団	1	1	3	6	34	2	47
	第3分団	1	1	3	6	36	0	47
第4中隊	第1分団	1	1	3	6	34	2	47
	第2分団	1	1	3	6	34	2	47
	第3分団	1	1	3	6	36	0	47
第5中隊	第1分団	1	1	3	6	32	0	43
	第2分団	1	1	3	6	32	0	43
	第3分団	1	1	3	6	44	0	55
合計		16	16	47	94	544	28	745

#### 4. 所属別消防団員勤続年数表

平成30年4月1日 現在

所属 年 数	本 部	第 1 中 隊	第 2 中 隊	第 3 中 隊	第 4 中 隊	第 5 中 隊	合 計	(年 数 % 構 成 比)
5年未満	4	112	134	76	60	72	458	59.71
5～10未満	18	29	25	41	42	46	201	26.21
10～15未満	20	2	4	18	18	15	77	10.04
15～20未満	8	1			11	2	22	2.87
20～25未満	3				3		6	0.78
25～30未満	1			1	1		3	0.39
30年以上							0	0.00
合 計	54	144	163	136	135	135	767	

#### 5. 階級別消防団員年齢表

平成30年4月1日 現在

階級 年 齢	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	合 計	(年 齢 % 構 成 比)
18～20未満								0	0.00
20～25未満					1	2	39	42	5.48
25～30未満					2	16	128	146	19.04
30～35未満					13	42	188	243	31.68
35～40未満			5	7	19	25	146	202	26.34
40～45未満		2	8	6	9	8	46	79	10.30
45～50未満			12	2	2	1	23	40	5.22
50～55未満		1	5	1			1	8	1.04
55～60未満		1	2		1		1	5	0.65
60以上	1	1						2	0.26
合 計	1	5	32	16	47	94	572	767	

団員は機能別団員を含む

## 6. 消防団及び消防団員に関すること

### (1) 年間の主な行事 (平成29年度)

4月	・辞令交付式、規律訓練	10月	・市民体育祭警護及び参加
5月	・消防団全体訓練	11月	・消防団ポンプ点検 ・部長・新入団員研修 ・産業祭り参加
6月	・旭市消防操法大会 ・海匝支部操法大会 (銚子会場)	12月	・歳末規律訓練 ・歳末警戒
7月	・千葉県消防操法大会 ・いいおかYOU遊フェスティバル 会場警備	1月	・旭市消防出初式
8月	・七夕祭り警備 ・九都県市合同訓練視察 (匝瑳市)	2月	・春季総合消防訓練(飯岡ユートピアセンター)
9月	・旭市総合防災訓練 (海上中学校)	3月	・千葉県消防大会 ・津波避難訓練 ・団広報紙「団報あさひ」の発行

### (2) 消防団の出動状況 (平成29年中)

区 分	回 数	延べ車両	延べ人員	備 考
火 災	23	171	970	建物 8 林野 0 車両 4 その他 11
風水害等	5	101	994	台風等
演習・操法 大会訓練	57	1,106	15,056	規律訓練、全体訓練 消防操法大会訓練 分団中継訓練、総合防災訓練 定例ポンプ点検、その他訓練
				出初式、文化財防御訓練 春季総合消防訓練、津波避難訓練
特別警戒	9	126	1,868	12月29日・30日歳末警戒市内全地区 市催し物(YOU・遊、七夕等) 警戒広報
合計	94	1,504	18,888	

### (3) 団員の処遇

#### ア 報酬・手当

平成30年4月1日 現在

種 類	金 額	種 類	金 額
報 酬 (年 間)	団 長	120,000円	手 当
	副 団 長	80,000円	
	分 団 長	65,000円	
	副 分 団 長	50,000円	
	部 長	42,000円	
	班 長	30,000円	
	団 員	25,000円	
機能別団員	10,000円		
			火災出動 6,000円／1隊1回
			訓練出動 1,000円／1人1回

#### イ 退職報償金(5年以上勤続消防団員に支給・一般団員の場合の額)

5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20～25年未満	25～30年未満	30年以上
200千円	264千円	334千円	409千円	519千円	689千円

#### ウ 補償制度

- ・公務災害補償 : 消防団活動中の怪我について、治療費補償、休業補償等
- ・福祉共済制度 : 団員が死亡、障害または7日以上入院する怪我を負ったときに、共済金を給付



# 7. 旭市消防団警戒区域・火災出動範囲表

平成30年4月1日 現在

所属	管轄区域	車両種別	特命出動	第1出動	第2出動	第3出動	
第一中隊 (旭地域)	第1分団	1部 新田、東町、新町、仲町、田町、塚前、街道、瀬道	タンク車	原則出動しなくともよい。但し、発災地の分団が現場に出動するときは可。	旭第1分団 旭2-1 3-1 旭4-1 4-2	第1出動に加え 旭2-2 2-3 3-2 3-3 3-4 4-3 旭7-1 7-2 海1-3 2-1 2-2 2-3	第2出動に加え 海1-1 飯3-1 干2-1
		2部 網戸	ポンプ車				
		3部 十日市場岡	ポンプ車				
	第2分団	1部 椎名内浜、西足洗浜	タンク車		旭第2分団 旭1-1 旭3-1 3-2 3-3	旭1-2 1-3 4-1 4-2 4-3 旭6-1 6-2 海2-1 飯3-1 3-2 3-3	海1-1 1-3 2-2
		2部 足川浜、十日市場浜、足川岡、椎名内岡	小型ポンプ積載車				
		3部 野中、東足洗岡、西足洗岡	小型ポンプ積載車				
	第3分団	1部 中谷里岡、仁玉岡	タンク車		旭第3分団 旭1-1 2-1 旭4-1 5-1	旭1-2 1-3 2-2 2-3 4-2 4-3 旭 5-2 5-3	海2-1 2-2 飯3-1 3-2 3-3
		2部 川向浜、仁玉浜、中谷里浜、神宮寺浜、駒込浜、井戸野浜	水槽付 小型ポンプ積載車				
		3部 神宮寺岡	小型ポンプ積載車				
第二中隊 (旭地域)	第4分団	1部 干潟、干潟南、神西、川口二区・八軒町	タンク車	原則出動しなくともよい。但し、発災地の分団が現場に出動するときは可。	旭第4分団 旭1-1 3-1 旭5-1 6-1	旭1-2 1-3 3-2 3-3 5-2 5-3 旭6-2 6-3 7-1 7-2 干2-1	海2-1 2-2 2-3 干3-1 3-2 3-3
		2部 宿天神、新川、馬場若衆内	ポンプ車				
		3部 袋	小型ポンプ積載車				
	第5分団	1部 井戸野(上・中・下)	ポンプ車		旭第5分団 旭1-1 2-1 旭3-1 4-1	旭1-2 1-3 2-2 2-3 3-2 3-3 旭4-2 4-3	海2-1 干3-1 3-2 3-3
		2部 川口	小型ポンプ積載車				
		3部 泉川、駒込岡、大塚原	小型ポンプ積載車				
	第6分団	1部 新町(上町・仲町・下町)	タンク車		旭第6分団 旭1-1 4-1 旭7-1 干2-1	旭1-2 1-3 4-2 4-3 7-2 海2-1 干2-3 3-3	干2-2
		2部 鎌数溜下、鎌数宮本、鎌数元締	小型ポンプ積載車				
		3部 鎌数小川、鎌数谷町場	小型ポンプ積載車				
	第7分団	1部 東琴田、中琴田、江ヶ崎、江ヶ崎西町	ポンプ車		旭第7分団 旭1-1 4-1 旭6-1 海2-3 干2-1	旭1-2 1-3 4-2 4-3 6-2 6-3 海2-1 2-2	干2-3
		2部 西琴田	小型ポンプ積載車				
	第三中隊 (海上地域)	第1分団	1部 見広、大間手		ポンプ車	第三中隊全隊出動	海第1分団 海2-1 3-1 飯2-1 3-1
2部 倉橋 (横根飛地)			小型ポンプ積載車				
3部 蛇園			ポンプ車				
第2分団		1部 広原(東・仲・南・西)	タンク車	海第2分団 海1-1 3-1 旭1-2 7-1	旭1-1 1-3 4-2 4-3 旭6-1 7-2 飯3-1		飯2-3 3-2 3-3 干1-1 1-2 1-3
		2部 後草	ポンプ車				
		3部 高生、琴田、沖	小型ポンプ積載車				
第3分団		1部 清滝	ポンプ車	海第3分団 海1-1 1-3 海2-1 2-2	旭6-1 7-1 7-2 飯3-1 3-2 干1-1		飯3-3 干1-2 1-3 2-1
		2部 幾世	小型ポンプ積載車				
		3部 岩井、松ヶ谷	小型ポンプ積載車				
第四中隊 (飯岡地域)	第1分団	1部 上永井、南町	小型ポンプ積載車	第四中隊全隊出動	飯第1分団 飯2-2 2-3 飯3-1 3-3	旭1-1 1-2 1-3 旭2-1 2-2 2-3 3-1 海1-3 2-1	旭3-2 3-3 海1-1 1-2 海2-2 2-3
		2部 本町、横根東浜、下永井(永井岡・東町・西上町・西下町)	ポンプ車				
		3部 川端町、小網町、広網町、大崎町、並木町、飯岡岡	ポンプ車				
	第2分団	1部 塙東町、塙西町、塙新町	小型ポンプ積載車		飯第2分団 飯1-2 1-3 飯3-1 3-3	旭1-1 1-2 1-3 旭2-1 2-2 2-3 旭3-1 海1-2(塙地区) 1-3 2-1	旭3-2 3-3 海1-1 1-2 海2-2 2-3
		2部 八軒町、行内、平松岡、平松浜	小型ポンプ積載車				
		3部 萩園、横根西浜、横根岡、双葉町	ポンプ車				
	第3分団	1部 曾根、目那	タンク車		飯第3分団 飯1-2 1-3 飯2-2 2-3	旭1-2 2-1 2-2 2-3 海1-3 2-1	旭1-1 1-3 海1-1 1-2
		2部 犬林、後、上宿、下宿	小型ポンプ積載車				
		3部 三川浜、泉宮飯岡岡地	小型ポンプ積載車				
第五中隊 (干潟地域)	第1分団	1部 東2.3区 萬歳(御用地長岡丁場・太田丁場)	小型ポンプ積載車	第五中隊全隊出動	干第1分団 干第2分団 旭6-1 7-1	旭7-2 海2-2 3-1 3-2	旭6-2 6-3 海2-1 2-3 3-3
		2部 東1.7区 萬歳(水門)、桜井(大久保飛地)	小型ポンプ積載車				
		3部 東4.5区 萬歳(柳辺)、関戸	小型ポンプ積載車				
		東6区 清原(さくら台)	小型ポンプ積載車				
	第2分団	1部 中3.4.5.6区 東入野、西入野、米込(三番割・二番割)	小型ポンプ積載車		干第2分団 干1-3 3-2 干3-3 旭6-1 7-1	旭6-2 6-3 7-2 海2-2	旭4-1 4-2 4-3 海2-1 2-3
		2部 中1.2.10.11区 長部、清和甲、松沢開墾	小型ポンプ積載車				
		3部 中7.8.9.12.13区 米込、南堀之内、清和乙、泉宮住宅、白寿園	小型ポンプ積載車				
	第3分団	1部 西1区 錦木(宿内)	小型ポンプ積載車		干第2分団 干第3分団 旭4-1 6-1	旭4-2 4-3 6-2 6-3	旭5-1 5-2 5-3 旭7-1 7-2
		西5.6区 錦木(内宿・塙台)	小型ポンプ積載車				
		西7.8区 錦木(湯木・宿)	小型ポンプ積載車				
		2部 西3.4.12区 錦木(愛宕・高根・河岸湖)	小型ポンプ積載車				
		西2.9.10.11区 萬力(萬力下・百石・萬力上)	小型ポンプ積載車				
3部 西13.14.15区 萬力(新発田・六軒屋下・上)	小型ポンプ積載車						
西16.17.18区 萬力(三軒屋東・西・秋田)	小型ポンプ積載車						

※ 平成26年4月1日 施行【加算式】

・管外応援出動は境界より500mとし、原則は建物火災とする。また、管内隣接区域への出動は各部の判断で出動すること。

・通信が共同指令センターに移行したことにより、出動指令通告が変更となる。

## 8. 消防団の配置車両状況

### ( 1 ) 第 1 ・ 2 中 隊 ( 旭 )

所属	車名	種別	年式	ポンプ製造会社	ポンプ年式	ポンプ級別
1	1 日 野	タンク車	平成 19 年	日本造機	平成 19 年	A2
	2 い す ゞ	ポンプ車	平成 16 年	日本造機	平成 16 年	A2
	3 日 野	ポンプ車	平成 28 年	G M いちはら	平成 28 年	A2
2	1 日 野	タンク車	平成 11 年	野口ポンプ	平成 11 年	A2
	2 ニ ッ サ ン	小型ポンプ積載車	平成 22 年	富士ロビン	平成 22 年	B2
	3 ニ ッ サ ン	小型ポンプ積載車	平成 22 年	富士ロビン	平成 22 年	B2
3	1 日 野	タンク車	平成 16 年	日本造機	平成 16 年	A2
	2 日 野	水槽付小型ポンプ積載車	平成 22 年	ト ー ハ ツ	平成 22 年	B2
	3 ニ ッ サ ン	小型ポンプ積載車	平成 19 年	富士ロビン	平成 19 年	B2
4	1 日 野	タンク車	平成 21 年	モ リ タ	平成 21 年	A2
	2 日 野	ポンプ車	平成 28 年	G M いちはら	平成 28 年	A2
	3 ニ ッ サ ン	小型ポンプ積載車	平成 22 年	ト ー ハ ツ	平成 22 年	B2
5	1 い す ゞ	ポンプ車	平成 17 年	G M いちはら	平成 17 年	A2
	2 ニ ッ サ ン	小型ポンプ積載車	平成 22 年	ト ー ハ ツ	平成 22 年	B2
	3 ニ ッ サ ン	小型ポンプ積載車	平成 29 年	シ バ ウ ラ	平成 29 年	B2
6	1 日 野	タンク車	平成 17 年	G M いちはら	平成 17 年	A2
	2 ニ ッ サ ン	小型ポンプ積載車	平成 29 年	シ バ ウ ラ	平成 29 年	B2
	3 い す ゞ	小型ポンプ積載車	平成 22 年	ト ー ハ ツ	平成 22 年	B2
7	1 日 野	ポンプ車	平成 18 年	モ リ タ	平成 18 年	A2
	2 ト ヨ タ	小型ポンプ積載車	平成 11 年	シ バ ウ ラ	平成 29 年	B2

## ( 2 ) 第 3 中 隊 ( 海 上 )

所 属	車 名	種 別	年 式	ポンプ 製造会社	ポンプ 年 式	ポンプ 級 別	
1	1	日 野	ポ ン プ 車	平 成 29 年	G M い ち は ら	平 成 29 年	A2
	2	ニ ッ サ ン	小 型 ポ ン プ 積 載 車	平 成 19 年	富 士 ロ ビ ン	平 成 19 年	B2
	3	日 野	ポ ン プ 車	平 成 21 年	G M い ち は ら	平 成 21 年	A2
2	1	日 野	タ ン ク 車	平 成 20 年	G M い ち は ら	平 成 20 年	A2
	2	ニ ッ サ ン	ポ ン プ 車	平 成 12 年	G M い ち は ら	平 成 12 年	A2
	3	ニ ッ サ ン	小 型 ポ ン プ 積 載 車	平 成 19 年	富 士 ロ ビ ン	平 成 19 年	B2
3	1	ニ ッ サ ン	ポ ン プ 車	平 成 11 年	野 口 ポ ン プ	平 成 11 年	A2
	2	ニ ッ サ ン	小 型 ポ ン プ 積 載 車	平 成 19 年	富 士 ロ ビ ン	平 成 19 年	B2
	3	ニ ッ サ ン	小 型 ポ ン プ 積 載 車	平 成 30 年	ト ー ハ ツ	平 成 30 年	B2

## ( 3 ) 第 4 中 隊 ( 飯 岡 )

所 属	車 名	種 別	年 式	ポンプ 製造会社	ポンプ 年 式	ポンプ 級 別	
1	1	ニ ッ サ ン	小 型 ポ ン プ 積 載 車	平 成 17 年	シ バ ウ ラ	平 成 17 年	B3
	2	ニ ッ サ ン	ポ ン プ 車	平 成 14 年	G M い ち は ら	平 成 14 年	A2
	3	日 野	ポ ン プ 車	平 成 24 年	G M い ち は ら	平 成 24 年	A2
2	1	ニ ッ サ ン	小 型 ポ ン プ 積 載 車	平 成 19 年	富 士 ロ ビ ン	平 成 19 年	B2
	2	ニ ッ サ ン	小 型 ポ ン プ 積 載 車	平 成 19 年	富 士 ロ ビ ン	平 成 19 年	B2
	3	日 野	ポ ン プ 車	平 成 24 年	G M い ち は ら	平 成 24 年	A2
3	1	日 野	タ ン ク 車	平 成 15 年	G M い ち は ら	平 成 15 年	A2
	2	ニ ッ サ ン	小 型 ポ ン プ 積 載 車	平 成 24 年	ト ー ハ ツ	平 成 24 年	B2
	3	ニ ッ サ ン	小 型 ポ ン プ 積 載 車	平 成 19 年	富 士 ロ ビ ン	平 成 19 年	B2

( 4 ) 第 5 中 隊 ( 干 潟 )

所 属	車 名	種 別	年 式	ポンプ 製造会社	ポンプ 年 式	ポンプ 級 別	
1	1	ニ ッ サ ン	小 型 ポ ン プ 積 載 車	平 成 13 年	富 士 ロ ビ ン	平 成 10 年	B2
	2	ニ ッ サ ン	小 型 ポ ン プ 積 載 車	平 成 11 年	ト ー ハ ツ	平 成 27 年	B2
	3	ニ ッ サ ン	小 型 ポ ン プ 積 載 車	平 成 11 年	富 士 ロ ビ ン	平 成 17 年	B3
2	1	ニ ッ サ ン	小 型 ポ ン プ 積 載 車	平 成 13 年	富 士 ロ ビ ン	平 成 13 年	B3
	2	ニ ッ サ ン	小 型 ポ ン プ 積 載 車	平 成 30 年	ト ー ハ ツ	平 成 30 年	B2
	3	ニ ッ サ ン	小 型 ポ ン プ 積 載 車	平 成 29 年	シ バ ウ ラ	平 成 29 年	B2
3	1	ニ ッ サ ン	小 型 ポ ン プ 積 載 車	平 成 30 年	ト ー ハ ツ	平 成 30 年	B2
	2	ニ ッ サ ン	小 型 ポ ン プ 積 載 車	平 成 13 年	富 士 ロ ビ ン	平 成 13 年	B2
	3	ニ ッ サ ン	小 型 ポ ン プ 積 載 車	平 成 13 年	富 士 ロ ビ ン	平 成 13 年	B3

# 消 防 年 報

(平成 29 年版)

編集・発行 旭市消防本部 総務課  
〒289-2511  
千葉県旭市イの 2953 番地 1  
TEL 0479 (63) 0119

メールアドレス

asahi119-somu@city.asahi.lg.jp

ホームページ (旭市ホームページ内)

<http://www.city.asahi.lg.jp/section/shoubou/index.html>



旭市イメージアップキャラクター あさピー